



潮谷 有二 (しおたに・ゆうじ)

1993年日本社会事業大学大学院社会福祉学  
研究科修了(修士:社会福祉学)、社会福祉士。  
株式会社地域計画設計、仙台大学体育学部健康  
福祉学科助手、長崎純心大学人文学部現代福祉  
学科専任講師、助教授、厚生労働省社会・援護局  
総務課社会福祉専門官(2002年4月から2008年  
3月まで)を経て、2008年より長崎純心大学人文学  
部現代福祉学科教授。

【役職】  
長崎純心大学 人文学部 学部長  
長崎純心大学 医療・福祉連携センター長  
長崎純心大学 人文学部 地域包括支援学科 教授  
長崎純心大学大学院 人間文化研究科 教授  
長崎純心大学 現代福祉研究所 所長

# はじまる、 全学科 男女共学

人文学部長  
潮谷 有二

1950年に開学した純心女子短期  
大学を前身とする長崎純心大学(以下、  
「本学」という。)は、1994年の開設か  
ら開学25周年を迎えます。

長崎県内唯一のカトリック大学である  
本学では、「マリアさまいよなことは私が  
よろこんで」という学園標語を基盤に据  
え、建学の精神である「知恵のみちを歩  
み 人と世界に奉仕する」ということを  
現代社会において具現化するとともに可  
視化するために、2015年の純心女子  
学園創立80周年を機に、様々な取り組み  
を行ってきました。

例えば、将来の地域包括ケアを担う専  
門人材を育成するために、文部科学省の  
補助金(2013年度から2018年  
度まで)を受けて始まり、補助金事業終  
了後も長崎大学医学部と本学との連携  
事業として継続的かつ発展的に取り組ま  
れている医療と福祉との多職種連携に係

る教育研究活動や、将来、長崎や自分の  
出身地域に貢献したいという高い志を有  
した学生を積極的に受け入れる地方創  
生特待制度を2016年度に創設した  
ことなどをあげることが出来ます。

そして、特筆すべきは、これまでの本学  
の教育研究実績をふまえ、地域と世界に  
貢献することができるローカルを基点と  
するグローバルな視野を有した優れた人  
材を育成し、人類の平和及び文化の発展  
と福祉の向上に寄与するため、「世界」  
「地域」「こども」をキーワードに従来の人  
文学部5学科体制を見直し、2018  
年度からは新たに文化コミュニケーション  
学科、地域包括支援学科、こども教育  
保育学科の人文学部3学科体制での  
スタートを切ったことです(左図参照)。  
さらに、開学25周年を迎える2019年  
度には、全学科で男子学生の受け入れを  
始めます。本学が本格的に男子を受け

入れるということに驚きを禁じ得ない方  
も少なくないかもしれません。

確かに学園創立から80年余の長きにわ  
たり、長崎の地において教育活動を行って  
きた「純心」には、女子教育のイメージが  
強く付与されています。しかしながら、本  
学に限ってみるならば、現在の地域包括  
支援学科の前身である現代福祉学科で  
は、2000年度から男子学生の受け入  
れを行ってきたおり、男女を問わず多く  
の卒業生が本学出身であることに誇りを  
持って医療や福祉の現場において活躍し  
ています。また、2018年8月20日に  
実施した全教職員を対象とするSD(ス  
タッフ・ダイバーサメント)研修会では、「新  
時代の長崎純心大学を展望する」をテー  
マに本学で初めてとなる長崎で活躍する  
男子の卒業生3名をシンポジストとして

迎えたシンポジウムを開催し、教職員同  
が男子卒業生から多くの学びを得る機  
会を持つことができました。また、同時に  
我々が取り組んできた教育活動を省み、  
将来の男女共学への自信を得ることもで  
きました。

このように、本学には、80年以上続く  
学園の女子教育で培った実績および  
2000年度からの現代福祉学科にお  
ける男女共学での経験があります。これ  
を踏まえ、男女がそれぞれの個性や特性  
を尊重し合いながらも学ぶことによ  
り、社会の要請に応えることができる人  
材の養成を更に広く普遍的に進めるた  
めに全学的に男女共学を行うことにしま  
した。

さて、ご存じの通り、世界に比類ないス  
ピードで進行する少子高齢化と人口減

少と都市への人口集中化現象の中で、本  
学を取り巻く状況は、決して楽観できる  
状況にあるとはいえません。このような状  
況の中で、本学が将来にわたって長崎県  
内唯一のカトリック大学として、カトリシ  
ズムに根ざした揺るぐことのないキリス  
ト教ヒューマンズに基づいて、その使命を  
果たし、社会から信頼され、発展してい  
くためには、本学創立の理念と歴史を基盤  
に据えた上で、教職員一同が本学で学ぶ  
学生本位の視点で本学の現状と課題と  
を客観的に認識し、普遍的なるものと変  
革が必要なものとの理性的に峻別し、本  
学及び学園の将来を構想していく必要  
があります。このような観点から、長崎純  
心大学は、今後も新化/進化し続ける大  
学でありたいと思っております。

